

使いすぎがトラブルを招く！

シビアコンディションでの使用に注意！

シビアコンディションとは、一般的な使い方よりも厳しい状態(シビアコンディション状態)で車が使われた場合、部品の劣化が通常よりも著しく進行することがあるため、設定されたものです。

各カーメーカーは必ずシビアコンディションを設定し、定期交換部品・油脂類の早め早めの交換を推奨しています。

【シビアコンディションの定義】

●悪路(凸凹道・砂利道・雪道・未舗装路)が走行距離の30%以上

- ・運転者が体に衝撃(突き上げ感)を感じる荒れた路面
- ・石を跳ね上げたり、わだち等により下回りを接触する機会の多い路面
- ・ホコリの多い路面

●走行距離が多い …年間走行距離が20,000km以上

●山道・登降坂路での走行が30%以上

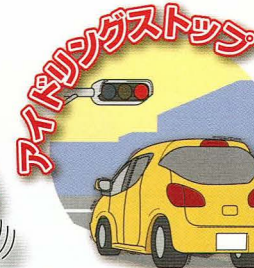
- …上り下りの走行が多く、ブレーキの使用回数が多い

●外気温が氷点下での繰り返し走行が多い

●短距離の繰り返し走行が多い …1回の走行距離が8km以下

●低速走行やアイドリング状態が多い

- …走行距離の30%以上が30km/h以下



渋滞の多い都市部での短距離のみの使用や、近所への買い物が中心の使い方はここに該当します。水温・油温が上がり切らない走行が多い場合、オイルに混ざった水分や未燃焼ガスが蒸発されず各部の劣化が進みます。

つまり！

エンジンが停止するハイブリッド車やアイドリングストップ車はもちろん
国内を走行する車のほとんどはシビアコンディションに分類されます！

ゆえに！

早めのオイル・オイルフィルターの交換が必要です！

【標準交換時期とシビアコンディション時の違い】

カーメーカーは、オイル交換についても「標準交換時期」と「シビアコンディションにおける交換時期」を設定しています。シビアコンディション状態での走行であるかを確認し、該当する場合は、早めの交換をおすすめしてください。

●トヨタ車の場合

名称		標準交換時期	シビアコンディション
オイル	ガソリン車 (ターボ車除く)	15,000km、または1年	7,500km、または6ヶ月
	ガソリンターボ車	5,000km、または6ヶ月	2,500km、または3ヶ月
	ディーゼル車	5,000km～20,000km、または6ヶ月～1年	2,500km～10,000km、または3ヶ月～6ヶ月
オイル フィルター	ガソリン車 (ターボ車除く)	15,000km オイルと同時交換	7,500km オイルと同時交換
	ガソリンターボ車	10,000km	5,000km
	ディーゼル車	10,000km～20,000km	5,000km～10,000km

※上記は各カーメーカーのサービスマニュアル/修理書・メンテナンスノート・オーナーズマニュアル等に記載されています。

**車両の整備手帳に記載されている定期交換時期を超えて使用された
フィルターはクレームの対象にはなりません**